

園田中だより

うつくしく・

たくましく

No. 4

尼崎市立園田中学校 TEL 06-6491-0775 平成 28 年 5 月 24 日 (文責 藤山 亨)

友だちが 増えました\(^o^)/ ~宿泊学習 in 鉢伏高原~

多くの子にとって、クラスメイトと仲良くなれた二日間でした。例えば、オリエンテーリングの最中、疲れた 班員のカバンをもってあげる子、立ち止まって励ます子 が大勢いました。

さて、今回の宿泊学習は、「園田中に入学して、初めて顔を合わせた子とも仲良くなって欲しい」と先生たちは考えていました。そのため、班分けなどは好きなもの同士ではなく、出席順などで決めています。







生徒は、仲の良い友だちと班をつくりたいと思っていたでしょうし、家庭でも班分けの不安を口にしていたかも知れません。

しかし、あえてそうはせず、良く知らないクラスメイトと話す 機会を増やして、友だち関係を築いて欲しかったのです。

実際に活動してみると、オリエンテーリングは(途中リタイヤ した子を除いて)バラバラに帰ってくる班はなく、みんな笑顔で 帰ってきました。また、ホテルの食事や飯ごう炊さんもそれぞれ が協力し合い、準備や片づけをしていました。目的の「仲間づく り」はある程度達成できましたね!



さて、あえて仲間づくりがある程度達成できたと書いたのには、理由があります。本当の仲間は、仲良くなった先にあります。そこから、相手の気持ちや考え方を理解しようと想うことが大切なのです。

1学期はこれから体育大会が、そのあとは期末テストがあります。足の遅い子やリレーでコケてしまった子の気持ちを推し量って声をかける。静かに勉強したい子の気持ちを考えて授業中はおしゃべりをしない。

このようなことをクラス全員が意識すれば、教室は居心地の良い空間になります。そうなれば、本当の意味で鉢伏高原に行って良かったと言えるでしょう。しんどい子のカバンをもってあげたように、これからも仲間のことを考えて行動してみてくださいね。(桐山 勉)

学力向上大作戦

園田中の学力向上アクションプラン

市の全中学校が学力向上に取り組むなか、 園田中の学力向上についての取り組みの一部 を紹介します。

- ◎落ち着いた授業を行うため、授業のルール を徹底します。
- ◎読解力・読書力養成のため、朝の読書タイムを実施しています。
- ◎2年の英語において、1教室に2人の教員を 配置し、「アクティブ・ラーニング」を推 進します。(これまでの教えられるスタイル の学習から、生徒たちが深く考えながら課 題を解決する力を養うスタイルの学習へ)

- ◎土曜チャレンジスクール 土曜日の午前中にリーダーと大学生が勉強をサポートします。対象は全学年です。
- ◎水曜チャレンジスクール 2 学期より 3 年生を対象に、水曜日の放課後にリー ダーと大学生が勉強をサポートします。
- ◎夏休み中の勉強のサポートを行い、苦手教科の克服と学習のサポートをします
- ◎新学習システム 1年生は英語、2・3年 生は数学で、クラスを半分にして少人数 授業を実施しています。
- ◎キャリア教育 進路についての学びを、1・2年時から積極的に行い、学習意欲の向上を目指します。
- ◎小学校との連携を積極的に行っています。

楽しい子育て全国キャンペーン

三行詩を募集します

園田中だよりには、右下のような子育てに 関係した三行詩を毎号掲載しています。別紙 にありますように、日本PTA全国協議会よ り今年度の募集案内が届きました。これまで は、全国の優秀作品を紹介するだけでした が、今年度は全国キャンペーンに園田中から も参加することになりました。そして、園田 中だよりにその作品を掲載しようと思いま す。園田中の生徒、保護者・祖父母の方々の 力作をお待ちしています。

募集期間 本日より 6月 10日(金)まで **応募方法** 学級担任か教頭まで

参加対象 中学生 保護者 祖父母等 ※複数枚の提出のため、用紙が足りない場合

は、コピーしていただくか、職員室(教頭) まで取りに来てください。

検索

※応募用紙のダウンロードは

三行詩募集

頑張れ!園中!!

野球部

第66回尼崎市民スポーツ祭 第3位 準決勝で、優勝した小田中に1-1の同点 で、規定により抽選を行い、その結果抽選負 けとなりました。一点は早川のHR サッカー部

第 66 回尼崎市民スポーツ祭 第 3 位 準決勝で、優勝した明倫クラブに 1 - 0 で惜 敗しました。

※市民スポーツ祭は水泳の大会を残して終 了。各部とも総体目指して頑張れ!園中!!

楽しい子育で全国キャンペーン 親子で話そう 家族のきずな わが家のルール 命の大切さ 三行詩

おい娘!

母さんへの言い訳で 「だって父さんの子なんだもん」って 言うんじゃない!

中学生の父